

「資産運用ソリューション プロバイダー」へ向けた グループ戦略の方向性について

2024年1月24日

三井住友フィナンシャルグループ



SUMITOMO MITSUI
FINANCIAL GROUP

「資産運用ソリューションプロバイダー」へ向けた主要施策の概要

- SMBCグループがグローバル総合金融グループとして有する、運用からコンサルティング提供に至るまでのインベストメントチェーンの各機能を包括的に強化

1 資産運用ソリューションプロバイダー態勢の整備

- お客様の「最善の利益」の確保を大前提としたグループ総合力の発揮

2 エントリーバリアの解消および継続的な資産形成の促進

- 資産運用に関する知識・理解の促進を図り、お客様一人ひとりの中長期に亘る資産形成をサポート

3 運用力の更なる強化に向けたグループ内外のケイパビリティの活用加速

- 商品ラインナップの拡充および高品質化を通じて、お客様の資産形成を支援

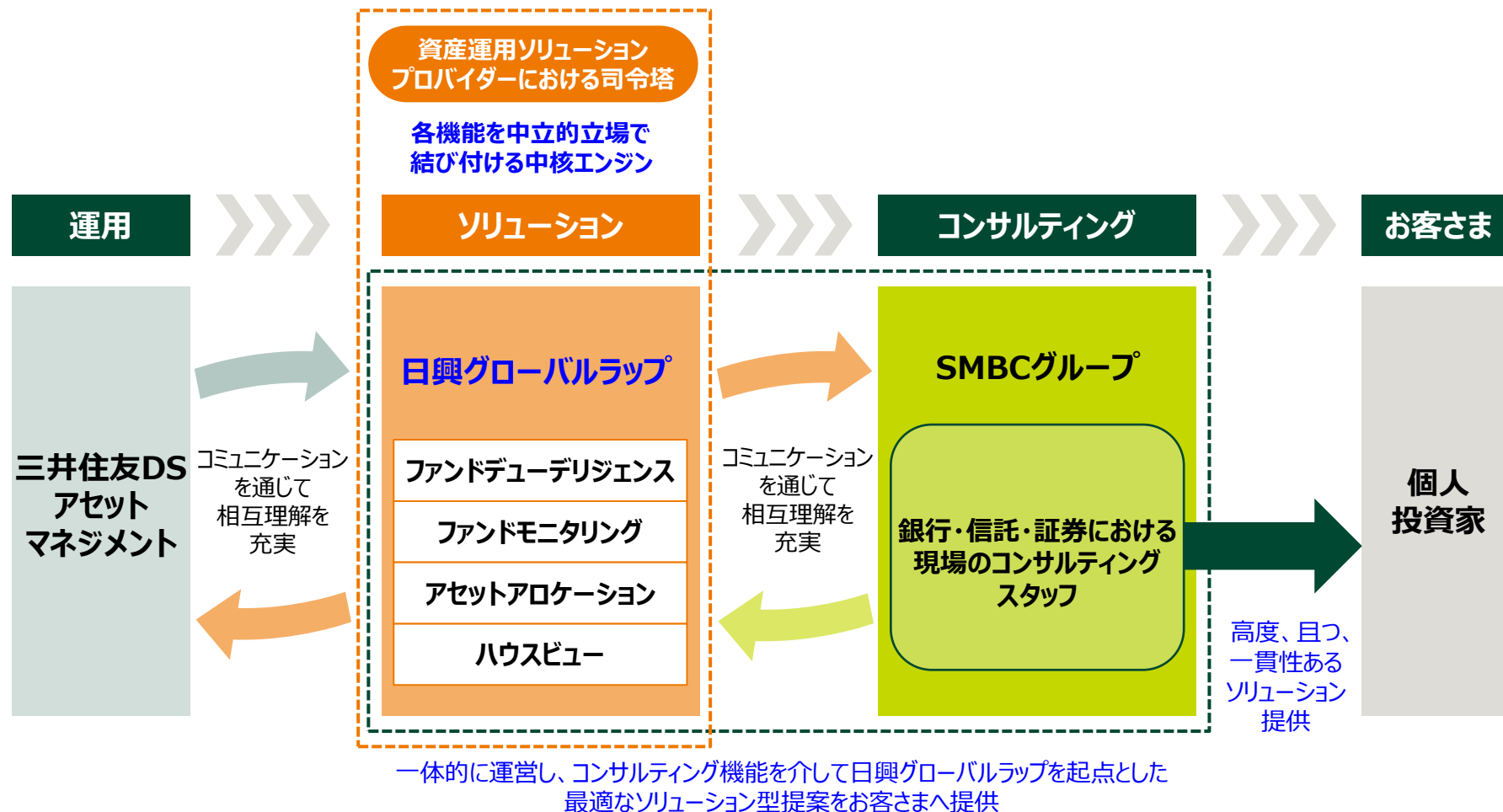
4 「資産運用ビジネスのプロ人財」を主体とするガバナンス態勢の強化

- 「独立性」「透明性」「健全性」ある資産運用のプロ集団として、お客様からのさらなる信頼獲得を図る

お客様の多様なニーズに寄り添いながら最適なプランを提供する
「資産運用ソリューションプロバイダー」への飛躍

資産運用ソリューションプロバイダー態勢の整備

- 日興グローバルラップを司令塔とするSMBCグループ独自のインベストメントチェーンを構築
- お客さまのニーズと、最適な運用商品選定・ポートフォリオ構築を結びつける機能をソリューション力の源泉として強化



エントリーバリアの解消および継続的な資産形成の促進①

- グループ各社が有する知識やノウハウを活かした様々な金融経済教育活動や資産形成・家計管理セミナーを幅広い世代に向けて提供

金融経済教育のグループ一体での取組



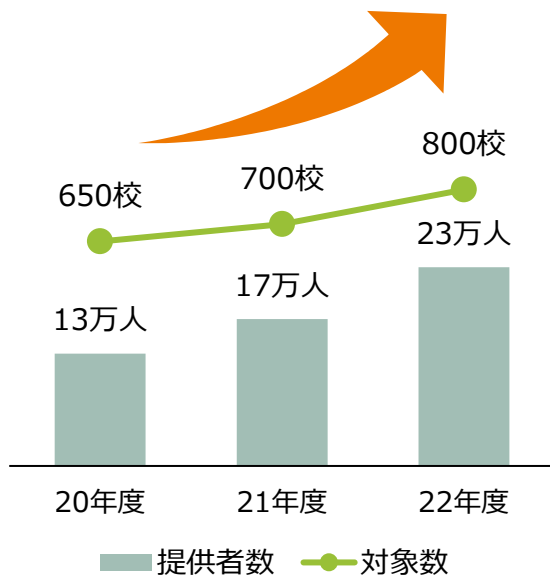
資産形成

生活設計・
家計管理

ローン・クレジット

金融トラブル

提供者数・対象数（単年度）



中長期 目標

- 対象数 -
1,000校水準
- 提供者数 -
2倍程度

金融経済教育セミナー動員数*



* 「2019年までの実績」および「文部科学省表彰の受賞」は SMBCコンシューマーファイナンス単体の実績

■ エントリーバリアの解消および継続的な資産形成の促進②

- 個人のお客さま向けの総合金融サービス“Olive”（オリーブ）では、銀行口座、カード決済、ファイナンス、オンライン証券、オンライン保険などの機能をアプリ上でシームレスに組み合わせた全く新しいサービスを展開

SMBC

Olive アカウント数

目標

5年 1,200万件

23年12月
160万件突破

Olive



POINT
24年春～

参加

グループ会社

非金融事業者

富裕層

SMBC日興

保険

SBI証券

新規顧客からの預金量 約3割増*1

預金基盤の量的・質的拡大

■ 新たなエリアの顧客獲得

新規口座開設数*2 前年比

関東・中部・関西 148%

上記以外 260%

■ メイン口座化の進展

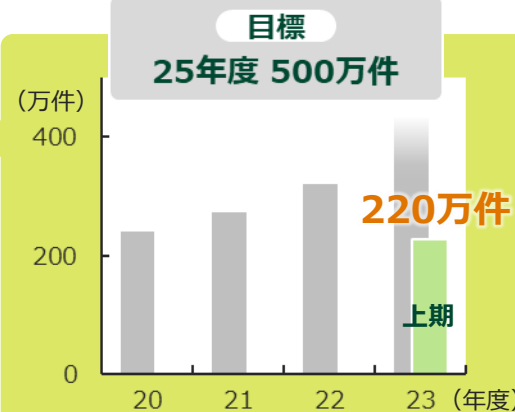
10M以上大口入金*3 前年比

入金件数 128%

入金額合計 139%

SMCC*4

SMCC 新規入会数



*1 2023年3-10月の新規口座開設者の2023年11月末預金残高の前年同期比

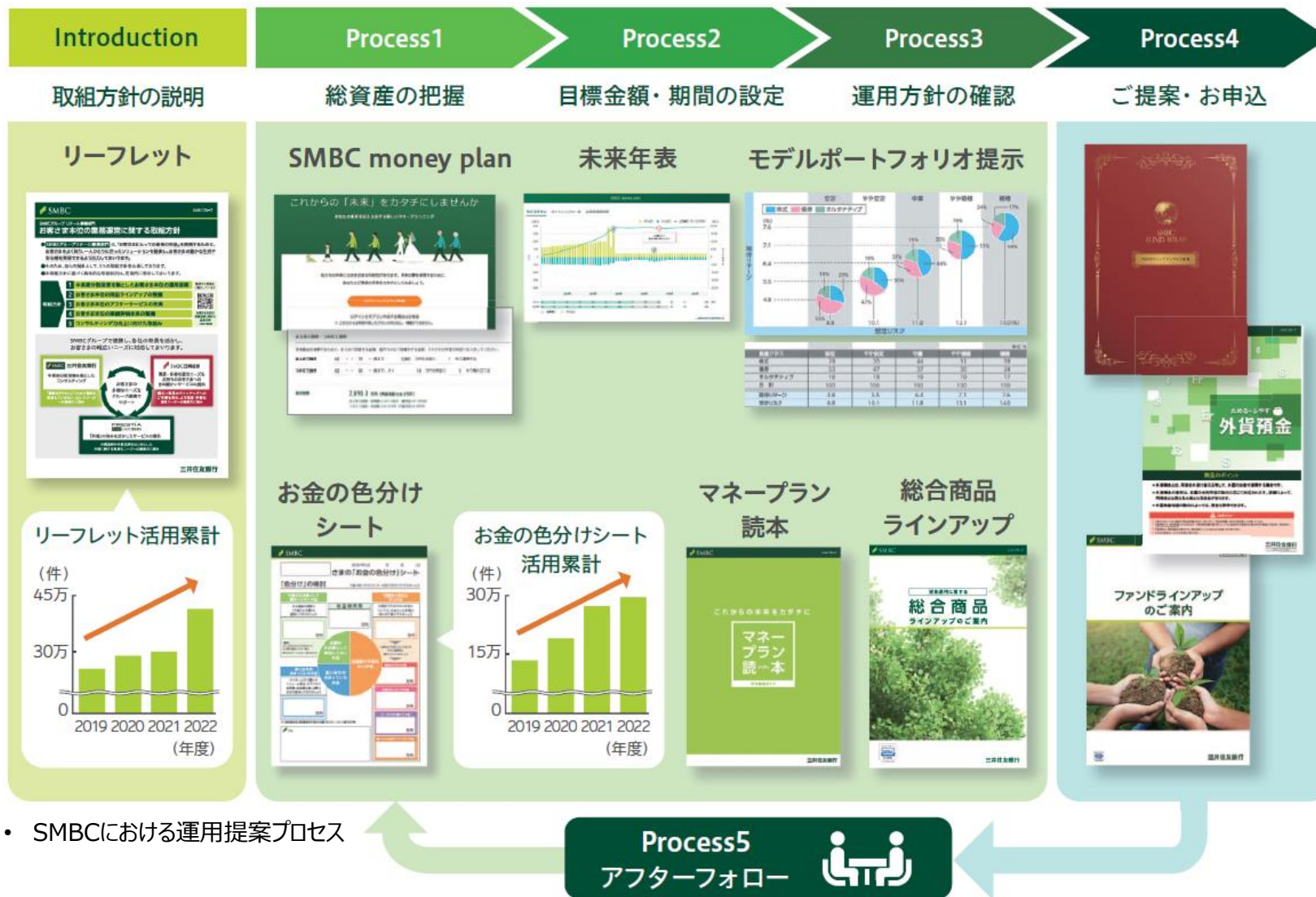
*2 2023年3-11月の新規口座開設数

*3 2023年3-10月の新規口座開設者を対象

*4 三井住友カード株式会社

エントリーバリアの解消および継続的な資産形成の促進③

- お客様の総資産を踏まえた運用提案コンサルティングにおける5つのプロセス

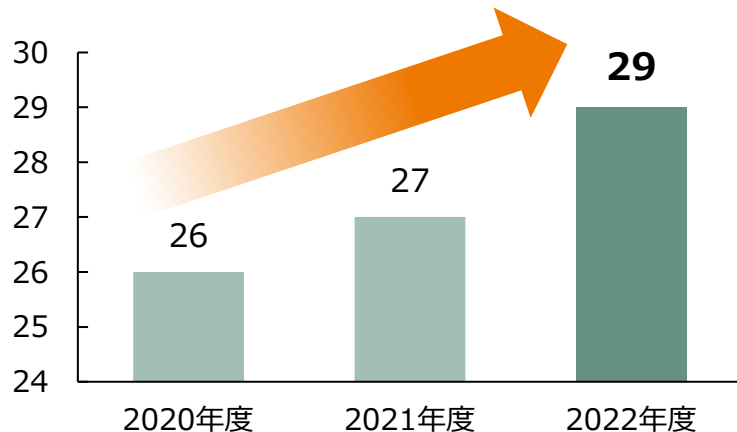


- SMBCにおける運用提案プロセス

運用力の更なる強化に向けたグループ内外のケイパビリティの活用加速①

- 三井住友DSアセットマネジメント(SMDAM)では、2022年3月にサービスブランド“Be Active.”を立ち上げ、アクティブ運用戦略を積極的に展開

SMDAMのアワード受賞ファンド*



* リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワード、R&Iファンド大賞、マーサーMPAファンドアワードの受賞ファンドの合計本数

アクティブETF
運用開始

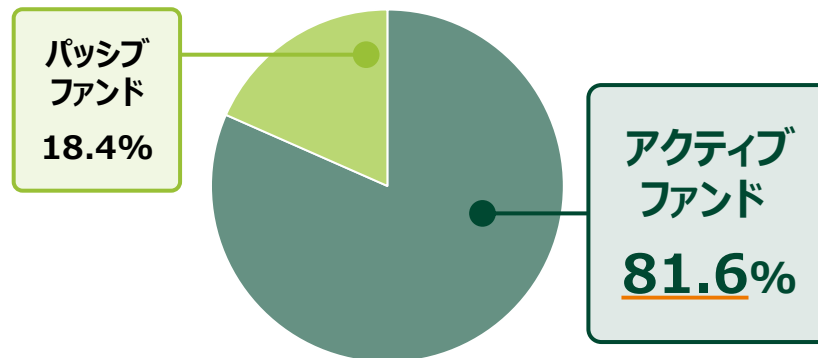
Be Active.

その一歩で、未来は変えられる。

グローバル資産への
リソースシフト

オルタナ運用で
自社運用を拡大

SMDAMの投信におけるアクティブ・パッシブ比*



* 2023年12月末時点

運用調査体制 (2023年10月1日)

運用
プロフェッショナル
260名

平均運用
経験年数
約15.4年

CFA・CIIA*
94名

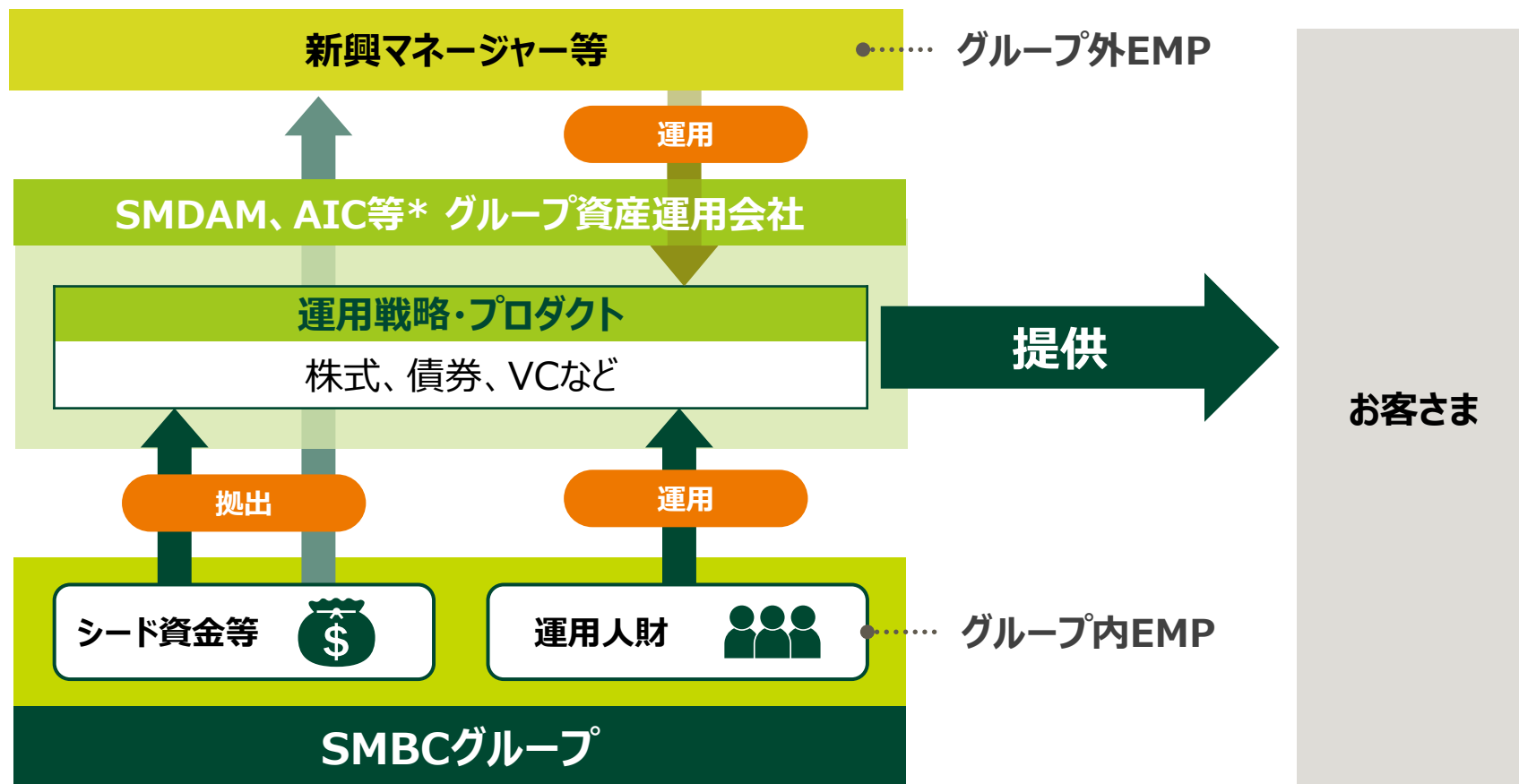


* CFAはCFA協会認定証券アナリスト、CIIAはCIIA国際公認投資アナリストの略

運用力の更なる強化に向けたグループ内外のケイパビリティの活用加速②

- グループの資産運用子会社を軸とするマルチブティック戦略の更なる強化に向けた「SMBCグループ版“Emerging Manager Program”（以下、SMBCグループ版EMP）」の導入を目指す
- 引続き、特色ある資産運用会社への出資や提携機会も模索

SMBCグループ版EMPのイメージ



* AICはイー・アイ・キャピタル株式会社

「資産運用ビジネスのプロ人財」を主体とするガバナンス態勢の強化

- SMBCグループでは、経験豊富なプロフェッショナル人財を中心にシニアマネジメントを構成
- SMDAMの運用部門では、運用専門職制度を導入し、アクティブ運用にかかわるプロ集団を構築

資産運用会社のガバナンス態勢について

グループ資産運用会社経営トップの業界経験年数^{*1}

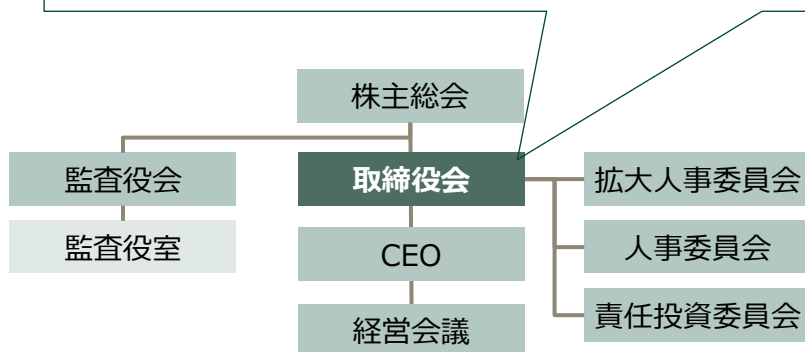
SMDAM	日興GW ^{*2}	AIC
35年	18年	25年

*1 2023年12月末現在

*2 日興GWは日興グローバルラップ株式会社

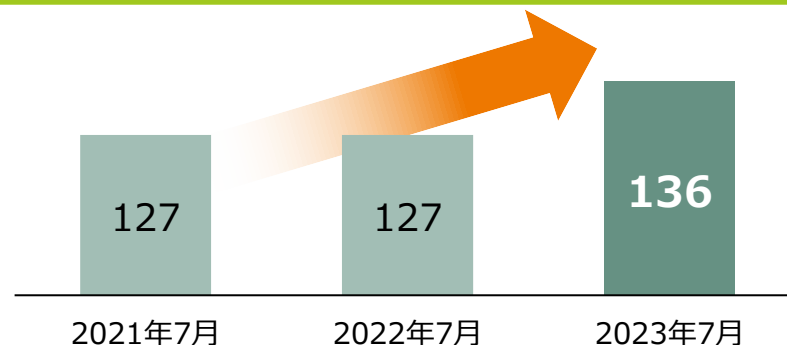
SMDAMにおける組織体制と取締役構成状況

2023年6月～

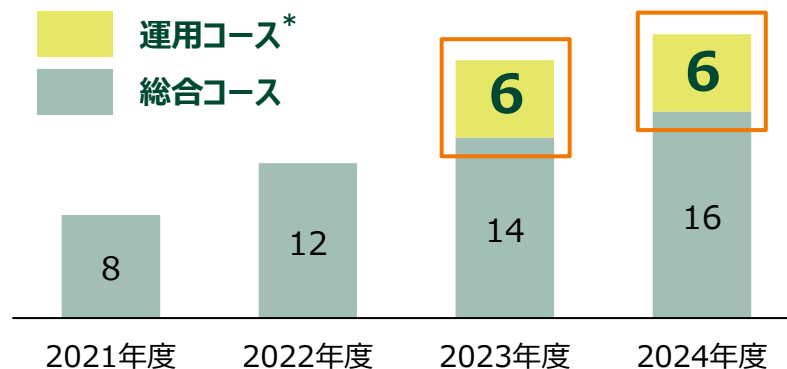


運用プロフェッショナルの態勢について

SMDAM運用専門職制度対象者推移 (人)



SMDAM新卒採用推移 (人)



* 運用コースは2023年度より採用開始